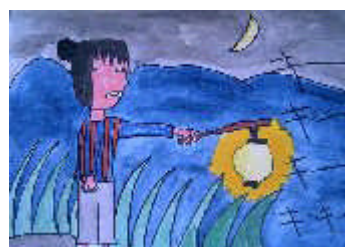
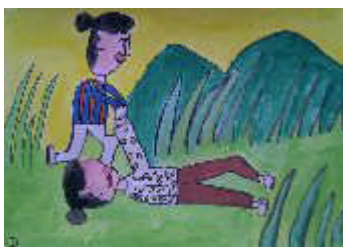


鬼の岩



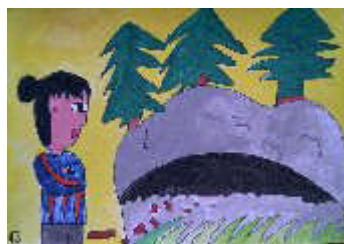
久賀の人が、寺福見に畑を耕作していた。
毎年、何物かに畑を荒らされるので、兄弟は思案の揚句、交代で夜番をすることにした。
たまたま兄が番をしている時、老婆が機をまわして糸をよっていたので、「夜中に不思議なものだ、これこそ化け物に違いない」と、持っていた弓に矢をつがえて放ったところ、たちまち老婆に取り押さえられて、殺されてしまった。



夜明け昼近くになっても兄が帰らないので、心配した弟が訪ねてみた。
殺された兄を見つけて、兄の仇を討たんと、数本の矢を準備した。
その中の1本の矢に、歯クソを沢山つけて夜番をした。



夜になると、やはり老婆が現れたので「こやつが兄を殺した化け物に違いない、兄の仇を討ってやるぞ」と、つぎから次に矢を射当てるが、平気である。
これまでと、最後に歯クソをつけた矢をつがえ、力いっぱい放つと、悲鳴をあげてにげ去った。



翌朝、血の跡を辿って行ってみると、寺の上の山の中にある大きな岩の下の洞穴に、血が沢山あったが姿は見えなかった。

この岩を鬼の岩といい、殺された兄の墓は、その畑に石を積んである。

資料提供

久賀島地区公民館

所在地 長崎県五島市久賀町 217-3

電話番号 0959-77-2265

ホームページ <http://www.hisakajima.com/>